

全
広
連

二〇一八年三月五日発行／奇数月一回五日発行／通巻一〇七四号／昭和三十九年二月十一日第三種郵便物認可
発行／公益社団法人全日本広告連盟 〒一〇四・〇〇六一 東京都中央区銀座七丁目四番十七号 電通銀座ビル七F 電話〇三・三五六九・三五六六 www.ad-zenkoren.org 定価四五〇円(購読料は金費を含む)

広告の元気は、ニッポンの元気。

全広連

Special Report

第66回 全日本広告連盟秋田大会ご案内



宮崎県 都城市／宮崎牛ステーキの「ふるさと給食」を味わう児童



公益社団法人
全日本広告連盟
JAPAN ADVERTISING FEDERATION

www.ad-zenkoren.org

ごあいさつ



第66回 全日本広告連盟
秋田大会組織委員会 会長
小笠原 直樹

第66回全日本広告連盟秋田大会の開催を5月に控え、多くの皆さまのお越しを心待ちにしております。

秋田広告協会が創立50周年の節目を迎えるのに合わせ、秋田では33年ぶりの開催となります。金沢、仙台、神戸と過去3年間続いた大都市での大会とは趣を異にしますが、秋田ならではの魅力を満喫していただければ願っています。

今大会のテーマは「ここからはじまる 確かな鼓動～あっきた!広告新時代～」です。

秋田県には人口減少、少子高齢化といった、日本全体が将来直面する問題が横たわっています。しかし、それを嘆いていても仕方ありません。“課題先進県”として新

たな社会モデルを示す役割が課せられたのだと、私たちは捉えています。

広告には、地域とそこに生きる人々を励まし、さまざまな課題も乗り越えられる力があります。今大会では、姜尚中氏の記念講演やパネルディスカッションを通して、「広告の未来、地域の未来」をともに考え、広告の新たな可能性を切り拓きたいものです。

日本の原風景が残る秋田は、民俗芸能の宝庫であり、美人の里としても知られています。新緑すがすがしい5月、世界自然遺産の白神山地をはじめとする豊かな自然と伝統文化、そのなかで育まれてきた多彩な食や酒を、ひとときゆっくりとご堪能ください。皆さまのご来県を楽しみにしております。

広告の元気は、ニッポンの元気。

全 広 連

Vol.1074

2018

3

CONTENTS

- | | | |
|---|----------------|---|
| 2 | Special Report | 第66回 全日本広告連盟秋田大会ご案内
ここからはじまる 確かな鼓動
～あっきた!広告新時代～ |
| 5 | …………… | ADFEST 2018
YOUNG LOTUS WORKSHOP 日本代表
第一次選考会・最終選考会
「Pre ADFEST 2018」開催 |
| 7 | …………… | 各地広告協会の動き
(岩手・東京) |
| 8 | …………… | CLIP BOARD |

Cover photo



宮崎広告協会 協力(撮影:宮崎日日新聞社)

宮崎県 都城市
宮崎牛ステーキの「ふるさと給食」を味わう児童

平成29年全国和牛能力共進会で3回連続内閣総理大臣賞を受賞し日本一となった「宮崎牛」。同市は、都城産の宮崎牛を味わってもら「ふるさと給食」を市内全小中学校で提供。牛肉購入費は、2年連続全国一になったふるさと納税の寄付額で賄った。こうした宮崎牛を給食で提供する動きは、県内の他の地域でも見られ、農畜産物への理解はもちろん愛郷心を育むきっかけになっている。2つの日本一が地域の財産になり、新たな息吹を感じさせる事例のひとつです。



第66回全広連秋田大会事務局

広告の未来、地域の未来を“課題先進県” 秋田から考える

第66回全日本広告連盟秋田大会が、目前に迫ってまいりました。秋田での開催は1985年の第33回大会以来33年ぶり二度目となります。日程は5月16日～18日の3日間。メインプログラムとなる大会式典やパネルディスカッション、記念講演は秋田県民会館で、懇親会は秋田キャッスルホテルにおいて行います。



秋田広告協会は、今年設立50周年を迎えるのを機に、全広連大会を誘致いたしました。開催が決定した2015年2月に準備委員会を設立、大会事務局に総務・式典・見

学ゴルフ・懇親の4部会を設置して各種準備に着手し、2017年5月に大会組織委員会を立ち上げました。

組織委では「ここからはじまる 確かな鼓動 ～あっきた! 広告新時代～」を大会テーマとしました。これは、私たち秋田広告協会の覚悟を示すフレーズです。少子高齢化と人口減少が同時に進む秋田県の現実、遅かれ早かれ全国共通の課題となるはず。こうした時代にあって生活者一人一人が地域の力になれるような広告の在り方を、人口減少の先進地である秋田で皆さまと一緒に考えていきたいと思います。広告の次の時代の鼓動を確認できる大会にすることが秋田で全国大会を開催する意義と考えております。そして、大会ロゴマークは、自然や伝統文化など秋田が誇る美しさと、人々の心を動かす広告の魅力が共に躍進する姿を、絶世の美女として知られる平安時代の歌人・小野小町をモチーフにシンボライズしました。



秋田は地域の人々が大切に守り続けている数々の民俗芸能、全国的にも名高い「秋田美人」、そして世界自然遺産の白神山地や、無形文化遺産に登録された三つの「やま、鉾、屋台行事」を有しています。また、大会会場となっております秋田市は、北前船の寄港地の一つで、日本遺産に指定されています。このような地域の風土や歴史を盛り込んで代々歌い継がれている民謡を、オープニングにて皆さまにご披露いたします。

大会式典後、「広告の未来、地域の未来」のテーマで、広告会社・デジタル事業者・広告主によるパネルディスカッションを行います。デジタル化を軸に急速に変化する広告界で、地域課題解決に向けて、業種を超えた連携や新たな試みに取り組む最前線の事例から今後の広告の未来を探っていきます。

午後は、「広告が拓く人と人との出会いー地方創生は人から」と題して、テレビ・新聞・雑誌などで幅広く活躍する、東京大学名誉教授の姜尚中氏に記念講演をしていただきます。

秋田キャッスルホテルに場所を移し、初日のフィナーレとして行われる懇親会では、秋田の地酒と、きりたんぼや比内地鶏など郷土料理の数々をご用意。さらに会場を大いに盛り上げてくれる企画もご準備しておりますので、どうぞご期待ください。

美の国秋田の歴史を探訪 文化に触れる見学会

美しい自然に囲まれた秋田県は発酵・醸造を始めとした豊かな食文化や、ナマハゲなどに代表される風習・民俗芸能が数多く息づく歴史あふれる地域です。見学会では、日帰り4コースと、一泊二日1コースをご用意しました。本県の歴史や文化を感じられる内容となっており、伝統を受け継ぐ人々の思いを感じていただければ幸いです。

1 五能線・リゾートしらかみ乗車と 木都能代再発見コース

県沿岸北部の景色や醸造文化を体験していただくコースです。人気のローカル線「リゾートしらかみ」に乗

り車窓からの風景をお楽しみいただいた後、一度見たら忘れられない鮮やかな青色に輝く「青池」を散策します。昼食は、木都能代を象徴する国登録有形文化財「旧料亭金勇」にて、秋田杉のぬくもりを感じながら地元の食材をふんだんに使ったお弁当をご堪能ください。最後に、福祿寿酒造の見学で、秋田の醸造文化に触れていただきます。



2 小京都・角館武家屋敷と芸術村堪能コース

みちのくの小京都と称される角館では、黒板塀の続く県指定の文化財・武家屋敷を散策し、武家らしい厳かな佇まいの母屋や格調高い重厚な造りの薬医門を見学します。劇団わらび座は、民謡の宝庫と呼ばれる仙北市に本拠地を置き、年間約1,200回の公演を全国で行っています。あきた芸術村ではわらび座ミュージカルや田沢湖ビールなど、地域発の芸術と食をお楽しみいただきます。



3 来訪神・ナマハゲ行事を体験! 男鹿の大自然・パワースポット巡りコース

恐ろしい形相と、地鳴りのようなうなり声ー。大晦日の夜に「なぐこはいねが(泣く子はいないか)」と家々を回り、怠け者を諭して厄を払うナマハゲは、男鹿の伝統行事。「男鹿真山伝承館」にて、その迫力をご体感いた

だきます。昼食は、男鹿の海の幸をふんだんに使った石焼き料理などでおもてなします。男鹿半島の切り立った崖や日本海が織りなす美しいロケーションも見どころの一つです。



4 知的探訪!醸造元見学と増田の蔵コース

藩政時代からの歴史が薫る県南部の横手市増田町と湯沢市を訪れます。商人蔵がひしめく増田町では、重厚感ある内蔵を見学し、日本三大うどんの一つに数えられる「稲庭うどん」をご堪能いただきます。その後は七代続く蔵元、湯沢市のヤマモ味噌醤油醸造元へ。蔵元の歴史に触れるとともに、海外への販路拡大、セレクトショップの開設、醸造蔵の見学ツアーなど、次々と繰り出される老舗の挑戦にもご注目ください。



5 ローカル線と県北周遊2日間コース

北秋田市や小坂町など県北部を周遊する1泊2日の行程です。初日は角館武家屋敷での散策のあと、角館駅でローカル鉄道「秋田内陸縦貫鉄道」にご乗車。里山や溪谷など、車窓からの景色をお楽しみいただけます。二目に訪れる小坂鉱山事務所は、西洋風の佇まいが特徴で、金銀銅の総産出額が全国一位だった鉱山の歴史を伝える文化財です。現存する最古の木造芝居小屋「康楽館」

での観劇も見どころ。

県北部の魅力が詰まった2日間です。



風薫る新緑のコースで 爽快にナイスショット

ご案内の最後は、懇親ゴルフ会です。秋田県を代表する2つのゴルフ場をご用意いたしました。

秋田カントリー倶楽部

開場は1961年、秋田最古のコースであり、秋田を代表する名コースです。自然の地形を生かしたレイアウトとなっており、黒松の原生林に囲まれ、また、日本海に面したシーサイドコースでもあります。グリーンはベントのワングリーン。巧みに配置されたバンカーや適度なアンジュレーションに加え、海からの風もスコアを左右する戦略性の高いコースとなっています。

秋田椿台カントリークラブ

1973年4月に開場。佐藤晋氏（東京農大教授）設計の高低差の少ない台地でフラットな距離のある雄大なコースです。日豪対抗プロゴルフマッチ、日本プロゴルフ東西対抗、日本女子プロゴルフトーナメント・東北クイーンズゴルフなどを開催した東北有数の名門コースです。

少子高齢化と人口減少といった課題と向き合いながら、地域に息づく美しい自然や民俗芸能に秘められた力を糧に秋田はこれからも前進していきます。「美の国」秋田をご堪能いただけるよう、心を込めておもてなしいたします。

ADFEST 2018 YOUNG LOTUS WORKSHOP 日本代表

第一次選考会・最終選考会 Pre ADFEST 2018 開催

YOUNG LOTUS WORKSHOP

日本代表第一次選考

■日程:2018年1月29日 ■場所:電通銀座ビル

Pre ADFEST 2018

■日程:2018年1月31日 ■場所:虎ノ門ヒルズフォーラム

YOUNG LOTUS WORKSHOP

日本代表最終選考

■日程:2018年2月5日 ■場所:電通銀座ビル

YLOW2018 日本代表 審査員

鏡 明氏(トリル)
古川 裕也氏(電通)
長谷部 守彦氏(博報堂)
八嶋 実氏(アサツー ディ・ケイ)
キリーロバ・ナージャ氏(電通)
新沢 崇幸氏(TBWA\HAKUHODO)

全広連は、アジア太平洋広告祭「ADFEST2018」に併催される、28歳以下のクリエイターを対象としたワークショップおよび作品コンペ「YOUNG LOTUS WORKSHOP (YLOW)」日本代表チームの選考を2段階選抜方式にて実施した。

全広連は第1回から日本代表チームの選出および派遣を行っている。

今年の課題は「Food loss and waste in Japan (食品廃棄への対策)」。日本各地から2人一組で全146組がエントリーした。1月29日正午から開催された第一次選考会では、ファイナリスト5組を選出した。



1月31日午後7時より、虎ノ門ヒルズフォーラムにて「PreADFEST2018」を開催し、応募者ら約200名が参加した。会場内には全応募作品が掲出

され、参加者らは熱心に作品を見学し、交流を深めた。

選考結果発表に先立ち、前回日本代表の安慶田・野田チーム(博報堂)が登壇し、日本代表になって得た経験などを語った。両氏はウェルカムボードや賞状の制作も担当した。



ファイナリストの発表では、「難しい課題だったため、買う量を減らす・食べすぎない・残さないなどのアプローチがかぶってしまったチームが多かった。これで本当に十分だろうか?と、もう一段突っ込んで考えられたかどうかが分かれ目となった。」と審査員らが講評を行い、賞状、副賞を贈呈した。

本イベントには、大正製薬、味の素、キリンビール、資生堂ジャパン、三菱鉛筆、第一三共ヘルスケア、電通、博報堂、アサツー ディ・ケイ、大広、

東急エージェンシー、読売広告社、凸版印刷(順不同)から協賛・商品の提供等でご協力を得た。

課題制作に使用する素材はGetty Images ジャパンより無償提供のご協力を得た。



YLOW2018 日本代表 第一次選考結果

【Finalist】

桑原宏明(電通中部)
奈雲政人(電通)
押部由紀奈(I&S BBDO)
菊池佳奈(BBDO JAPAN)
西帯野蓮(博報堂)
棚橋直生(アサツー ディ・ケイ関西)
辻仁史(博報堂)
寺尾光平(電通)
岡山拓斗(アサツー ディ・ケイ)
栗原匠吾(ライツアパートメント)
※表記は全てCopy-Artの順(敬称略)

2月5日、日本代表最終選考会が開催された。課題は「Encouraging Japanese Men to Take on Higher Share of Household Work (男性の家事参加の促進)」。

課題発表から約2日間の制作期間を経て、各チームが英語によるプレゼンテーションを行った。

最終選考の結果、日本代表は押部由紀奈-菊池佳奈 (I&S BBDO- BBDO JAPAN) チームに決定した。



英語によるプレゼンテーション・質疑応答

審査員から各チームの案に対してフィードバックを行い、「本戦のプレゼンでは、言葉が堪能でなくても、アイデアの本質的な価値について端的に説明できるように準備をして、ベ

ストを尽くしてきてほしい。」と激励の言葉を贈り、閉会となった。

YLW本戦のレポートは、機関誌「全広連」5月号にて掲載する予定。



日本代表決定(前列左から3人目が菊池氏、4人目が押部氏)

各地広告協会の動き

岩手

岩手広告協会が 節分析願祭

岩手広告協会(会長・東根千万億 岩手日報社社長)は2月2日、盛岡市のホテル東日本で節分析願祭を行い、協会役員らが豆まきをして社業発展と景気回復を願った。会員約40人が出席。祈願祭では役員ら7人が袴(かみしも)姿で現れ、神事に続き「福は内」の掛け声に合わせて、勢いよく豆をまいた。



景気回復を願い、威勢よく豆をまく協会役員ら

新春講演会は、NPO法人イーハトーブ宇宙実践センター理事長で国立天文台名誉教授の大江昌嗣氏が「岩手における科学とILC-宮沢賢治の世界から」と題して講演した。岩手県奥州市水沢区にある旧緯度観測所(現国立天文台)を訪れた宮沢賢治が宇宙に深い関心を寄せたことなどを紹介し、東北への誘致を目指す国際リニアコライダー(ILC)について「世界の科学者が共同で宇宙の解明を目指す研究は、賢治の世界に通じる」と説いた。

講演会後の懇親会では、今年地域の発展を願い、杯を交わした。

東京

東京広告協会 第90回定時総会、 記念講演などを開催

東京広告協会は2月22日、帝国ホテルで第90回定時総会、第37回「東京広告協会 白川 忍賞」贈賞式、記念講演、懇親パーティーを開催した。



第90回定時総会を開催

第37回「東京広告協会 白川 忍賞」が宮崎晋氏(㈱博報堂 チーフクリエイティブオフィサー)に贈賞され、宮崎氏が「アイデアを出すことにこだわり抜き、より良いチームの在り方を模索してきた。チームワークを大切にされていたという白川氏の名を冠した賞を頂き、大変光栄です」と挨拶した。

記念講演には「チームマネジメント〜今治からの挑戦〜」と題してFC今治オーナー/サッカー日本代表元監督の岡田武史氏が登壇。「地域に根差し、愛されるフットボールパークを作るべく奮闘している。サッカーの指導のみならずビジネスの場においても、結果に対する叱責ではなく、成長を目指した指導をする事が最も大切なのではないか。」などと語った。



岡田氏が子供達の未来に向けた取り組みについて語った

どんなアイデアに、「ワクワク」しますか？ (審査員 キリーロバ ナージャ氏 電通)

参加したすべてのみなさま、本当にお疲れ様でした！一次選考の『フードロス』の課題では、問題の本質をうまく見つけたせたかが第一関門となった。さらに、チャームングで新しい提案までこぎ着けたチームがファイナリストに選ばれた。最終選考の『男性の家事参加を促す』の課題では、様々な家族のカタチや、女性目線からいいなと思えるかが決め手のポイントとなった。

優勝ペア以外は、今、とても悔しいと思う。「何がいいアイデアか?」という質問をたくさん受けたが、過去の名作をあびるようにみると自分の中で自然と見えてくるはずだ。もし、ヒントを一つだけだすならば、人をいかに「ワクワクさせる」か。ターゲットも審査員も。そこにこそ、クリエイティビティを光らせたい。それでも、正解がないゲーム。だからこそ、本当に自分がいいなあと思うアイデアを本気でぶつけて欲しい。ぜひ来年もまた挑戦してみてください。

「完璧」よりも「感動」を (審査員 新沢 崇幸氏 TBWA\HAKUHODO)

日本代表チームの選考をしていて思うのは「いまの若い人は優秀だなあ」ということ。みんな本当によく勉強していて、アイデアのレベルが高い。僕自身10年前にこの舞台から世界に巣立たせてもらった者として、今参加したらとても叶わないな、と思う。

同時に危うさも感じている。アイデアが、デッキが、ロジックが、全員似たフォーマットになっていないか。仕掛けや仕組みだけを考えて、その先の「表現」がおろそかになってないか。同じ筋道をたどっても、コピーや絵を詰めるだけで、そのアイデアは何倍もいいものに化ける。審査員を納得させるだけではダメだ。審査員を困らせ、悩ませ、驚かせるアイデアをぶつけてもらいたい。枠にはまった完璧ではなく、枠があったことすら忘れるような感動を生み出してもらいたい。選考で探しているのは「強いチーム」です。世界で勝てるアイデアを来年も期待しています。



TOPICS

第6回「全広連日本宣伝賞」各賞決定

全広連は、昨年12月13日に第6回「全広連日本宣伝賞」選考委員会を開き、以下の通り贈賞することを決定した。各賞は5月16日(水)開催の第66回全日本広告連盟秋田大会式典内で贈賞を行う予定。

「松下賞」田中孝司氏 (KDDI(株) 代表取締役社長)
「正力賞」秋元 康氏 (作詞家・プロデューサー)
「吉田賞」鏡 明氏 (㈱ドリル エグゼクティブ・アドバイザー)
「山名賞」佐々木宏氏 (クリエイティブディレクター)

平成29年度第4回理事会開く 平成30年度事業計画・予算など承認

全広連は3月16日、平成29年度第4回理事会を東京の電通銀座ビルで開催した。大平明理事長を議長に、平成30年度事業計画などについて審議し、全て異議なく承認された。

【平成29年度第4回理事会 議題】	第 7 号議案	全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞選考委員会次期委員選任の件
第1号議案 「事務局業務委託契約書」一部改正及び再締結の件	第 8 号議案	全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞選考委員会次期外部有識者委員選任の件
第2号議案 平成30年度全広連助成金支給の件	第 9 号議案	全広連日本宣伝賞選考委員会次期委員選任の件
第3号議案 平成30年度事業計画書承認の件	第10号議案	「会員代表者変更届」改訂の件
第4号議案 平成30年度収支予算書等承認の件	(同・報告事項)	職務執行状況の報告 他
第5号議案 次期名誉顧問及び顧問選任の件		
第6号議案 次期8ブロック代表者選任の件		

全広連の活動(平成30年3月～5月)

- 活動日程
- 3月16日 平成29年度第4回理事会(東京、電通銀座ビル)
 - 3月28日 第12回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞選考委員会(東京、電通銀座ビル)
 - 4月11日 平成30年度第1回8ブロック会議(東京、電通銀座ビル)
 - 4月20日 全広連ブロック会議、第109回全国事務局長会議、平成30年度第1回理事会(東京、コートヤード・マリオット銀座東武ホテル)
 - 5月15日 第66回通常総会、平成30年度第2回理事会(秋田、秋田キャッスルホテル)
 - 5月16日～5月18日 第66回全日本広告連盟秋田大会(秋田、秋田県民会館及び秋田キャッスルホテル)

INFORMATION

第66回全広連秋田大会登録のご案内【締切3月20日】

第66回全広連秋田大会(P2～P4参照)の登録申込を下記の通り受付けています。大会申込Webサイトよりご登録ください。申込に関するお問合せは所属広告協会までお願いします。

- 大会登録料(消費税込)
- 会員:お一人 27,000円 配偶者:12,500円

- 申込Webサイト
-
- https://www.pac-sys.net/zenkoren_akita2018

- 大会全般に関するお問い合わせ
- 第66回全日本広告連盟秋田大会事務局
- 〒010-8601 秋田市山王臨海町1-1(秋田魁新報社内)
- TEL:018-888-1861 [9:00～17:00(土・日・祝休)]
- E-mail: akita-kokoku@sakigake.jp

加盟各地広告協会 新入会員社紹介

[順不同・敬称略]

【仙台広告協会】(1社1名)

- (株)協同企画
- 代表取締役 眞田伸一

【富山広告協会】(1社1名)

- (株)フェローズ金沢支社
- 取締役ネットワーク推進室室長 土屋高広

【京都広告協会】(1社1名)

- (株)フェローズ京都支社
- 支社長 小西孝宏

【大阪広告協会】(1社1名)

- (株)フェローズ大阪支社
- 支社長 小西孝宏

【新潟広告協会】(2社2名)

- (株)ロカリオ
- 代表取締役社長 石井邦明
- (有)シーズ
- 代表取締役 本間秀世

【福岡広告協会】(2社2名)

- (有)西野企画
- 代表取締役 西野彰一
- (株)フェローズ福岡支社
- 取締役ネットワーク推進室室長 土屋高広

【お願い】人事異動などによる会員の交代や役職の変更等が生じ、機関誌「全広連」の発送先が変更になった場合は所属広告協会事務局へご連絡をお願いします。